



伊豆神社

田内城主菅沼伊賀守定盛が天文5年(1536)に伊豆三社権現を再建(現在 伊豆神社)棟札には「奉造立田内郷西田内社 天文伍稔丙申 極月三日 郷社頭御〇〇 鰐口太鼓 宜那菅沼伊賀守定盛 林左京進」とあって、天文9年には、鰐口とともに太鼓を奉納したとある。また、林左京進は旧鳳来町(現:新城市)の双瀬城主であった。



幸秀寺

田内城址の西約150mに曹洞宗豊川山妙厳寺の末寺・徳厳山幸秀寺がある。本尊は聖観音で慶長12年(1607)の過去帳に「幸秀寺慶大師 慶丁末年七月七日 伊賀守 母」とあり。

菅沼定勝の妻(法名・幸秀寿慶大姉)は幸秀寺を近久保から現在地に移して再建し、曹洞宗に改めた。

位置図



交通のご案内



愛知県

設楽の山城

土岐桔梗紋



六ツ釘抜紋

田内城址



設楽町観光協会

〒441-2302 愛知県北設楽郡設楽町清崎字中田 17-7
※2021年5月頃移転予定

〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前 14
TEL. 0536-62-1000 FAX. 0536-62-1332

<https://www.kankoshitara.jp>



たない 田内城址（別名 金ヶ崎城）

所在地
立地
城歴

北設楽郡設楽町田内字インベ二十二番地 他
豊川（寒狭川）右岸の標高三三・四メートルの独立小山に築かれ、東側に豊川が流れ比高七・二メートル、北側は比高六・六から三五メートルの自然の堀、西側は湿地帯で比高三・〇メートル、南側がゆるい斜面の地形で三方を急斜面に囲まれた天然の要害に築かれている。縄張りには山頂の本曲輪九〇〇平方メートルを中心に北の小曲輪・西に腰曲輪・南に二の曲輪と腰曲輪、その下が大手口の構えとなる。戦国時代奥三河に勢力を誇った菅沼氏の一族、島田菅沼氏の伊賀守定盛が天文年中（一五三二〜一五五五）に築城。その後、定勝・三照（始め定清）と続き、三照が新城の井道に移り廃城となったといわれる。

縄張り図



本曲輪



二の曲輪



城山稲荷



城の入口